

# 子育てワンポイント 励ましのことは8

## 間違いから学ぶ②

子どもに手を差し伸べ、  
子どものあやまちを理解するための  
ひとつの方法は、子どもとよく話しあうことです。



子どもが間違いをしでかしたとき、その原因を考えたことがありますか？  
誤解したか、情報が足りなかったか、不注意だったか。あわてていた、あるいは目立とうとしていた、それとも自分に向かないことを引き受けたか、もしくは難しすぎたでしょうか。

もしかすると、間違いをおかしても無理のないようなことだったのかもしれませんが。ですから、子どもが自分を責めすぎたり、失敗を恐れるようになったりしないようしてください。そのためには、子どもに過剰な期待をしないこと、何でも簡単にできるなどと思っていないことを、日頃から伝えておくことも大切です。たいていの場合、私たちはわざと間違えるわけではありません。子どもたちだって同じです。

もしわざとしたのだとすれば、それはいけないことだとはっきり教えなければなりませんね。

子どもに手を差し伸べ、子どものあやまちを理解するためのひとつの方法は、子どもとよく話しあうことです。別の方法はなかったのか、いっしょに考えてあげてください。子どもはいずれ、私たちのもとから旅立ち、より広い世界で生きてゆくでしょう。そのとき、子どもの人生を守るものは、子どもが幼いとき、私たちが教えたことなのです。

叱るまえに、話をきき、話しあえるとしたら、私たち親に心の余裕が必要だなあとかわかれます。夫婦や親同士で、もっと子育ての話ができれば良いですね。Pastor K